

床暖房をお使いのお客様へ

三菱ケミカルインフラテック株式会社

温水マット使用床暖房に関するお願い

お客様宅の床暖房は「温水式」です。床材の下に、温水が循環する「温水マット」が敷設されています。

本書には、温水式床暖房および敷設された温水マットに関する注意事項などを記載しています。

床暖房をご使用になる前に、本書と床暖房に関連する機器の取扱説明書に従い、正しく安全にご使用ください。

- 床暖房リモコンの取り扱いについては、床暖房リモコンの取扱説明書に従ってください。
- 熱源機の取り扱いについては、熱源機の取扱説明書に従ってください。

■快適にご使用いただくために

1. お住まいの地域やお部屋の構造・方角・窓の大きさ、ベッドなど家具の配置、気象条件などにより、床暖房だけではお部屋が暖まりにくいことがあります。このような場合は、エアコンなど他の暖房機器も使用することをおすすめします。また、お部屋を早く暖めたいときなどにもエアコンなど他の暖房機器もいっしょにお使いください。
2. お使いの床暖房リモコンが室温センサー付きの場合、床暖房とエアコンなど他の暖房機器を併用される場合、エアコンなどの温度は低め(20℃前後)に設定することをおすすめします。これは、室温が高くなると床暖房の運転が停止するためです。
3. 床暖房は、エアコンなど温風暖房と比べると室温が上昇するのに多少時間がかかります。床暖房リモコンのタイマー機能を上手に活用すれば、お望みの時刻に室内を暖めておくことができます。



■温水式床暖房の性質について

1. 部屋の壁際など、温水マットが敷設されていない部分の床は暖まりません。また、温水マットの構造上、温水マットが敷設されている部分でも若干の温度ムラが生じることがありますが異常ではありません。
2. 張り替えなどで床材をはがした場合、敷設されていた温水マットは使用できなくなる場合があります。
3. フローリング、コルクタイル、畳などの仕上げ材は、温水マットからの加熱により多少すき間が生じることがあります。
4. 温水式床暖房は、熱源機で作った温水を温水マットに循環させて暖房するため、床暖房の運転中は熱源機の燃烧音やポンプ音、流水音が聞こえることがあります。
5. 床暖房を使用していなくても床から水の流れる音が聞こえることがあります。これは暖房回路内にたまった空気を抜くために定期的に温水マット内に水を循環させるため、故障ではありません。

※「コンクリート埋込工法」など温水配管の敷設の方法によっては、室温の上昇に要する時間が長めにかかります。

■ 安全のための注意

本書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

低温やけどに注意

床面温度を高くして長時間、皮膚の同じところが床面に触れた状態で使用すると、低温やけどのおそれがあります。特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

- 乳幼児、寝たきりのお年寄り、ご病人など、
自分の意思で体を動かせない方
- 疲労の激しいとき
- 皮膚の弱い方
- 皮膚感覚の弱い方
- お酒・睡眠薬を飲まれた方

ガスを密封した容器・品物を床暖房の上に置かない

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベ、ライターなどを床暖房中の床の上に置かないでください。熱で圧力が上がり、火災や爆発のおそれがあります。

異常時の処置

異常音・水漏れ・異常な臭気を感じた場合は正に運転を停止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

地震・火災など緊急の場合

地震・火災など緊急の場合はただちに運転を停止してください。

注意

暖房以外の用途に使用しない

特殊な用途(衣類の乾燥、動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。

長時間床暖房する場合は換気する

閉め切った部屋で長時間床暖房をすると、まれに体調が悪くなることがあります。窓を開けるなどして換気してください。これは接着剤や木材に含まれるホルムアルデヒドが原因の一つと考えられますが、床暖房以外の原因も考えられるため、工事業者にご相談ください。

熱に弱いものは直接置かない

パソコンなど熱に弱い電子機器や、熱で影響を受けるものは、床暖房中の床の上に直接置かないでください。故障や変質、劣化の原因となります。

一般家庭用品です

この温水マットを使用した床暖房は一般家庭用です。店舗など一般家庭の住居以外の用途に使用すると、故障や床材の破損、思わぬ事故の原因となります。

■ 床暖房の性能を発揮するために

床暖房をする床面にカーペットやこたつを置かない

カーペットなど大きな面積の放熱を妨げるものを敷いた状態で床暖房をすると、部屋が暖まりません。

温水の循環を妨げるものを置かない（カーペット仕上げの場合）

カーペット仕上げの床暖房では、重いものを敷いていると温水の循環が妨げられ、暖房できない、できても十分に暖まらないことがあります。ピアノなど重いものは、脚部を床と接する部分に受け板などを敷いて荷重を分散させてください。

「受け板の直径」の必要寸法は、下記の[参考表]を目安にしてください。

[参考表]カーペット仕上げ床暖房の耐荷重

荷重のかかりかた	例	重量	受け板の直径 (丸型 脚部4箇所の場合)
家具やピアノのように長期的に荷重がかけられた ままの状態が続く	ピアノ	約 260kg	直径 6.5cm 以上
	冷蔵庫	約 200kg (400L)	直径 6cm 以上
人が椅子に座る時のように短期的な荷重	椅子と人	約 70kg (1人)	直径 2cm 以上
	応接セット	約 250kg (3人)	直径 3.5cm 以上

■ 床材・温水マット・家具類の保護と破損予防のために

※床材の取り扱い方法の詳細やお手入れのしかたなど、床材に関する詳細は床材の取り扱い説明書類や床材メーカーの指定に従ってください。不明な場合は床材メーカーにお問い合わせください。

カーペット仕上げ・畳仕上げの床暖房の場合

1. キャスターや脚部の先が細い椅子を使用したり、靴をはいて歩いたりしないでください。温水マットがへこみ、温水マット内の配管を痛めることがあります。
2. カーペットの上でカッターなどの刃物を使用しないでください。温水マット内部の配管を傷付けるおそれがあります。
3. カーペットや畳にくぎなどを打ったり、ダニ駆除剤の注入針や画びょうなど鋭利なものを刺したりしないでください。温水マット内部の配管を傷付けるおそれがあります。壁の一部分やカーペット、畳の下には暖房を行うための温水配管が位置している場所があり、配管を傷付けたり漏水の原因となることがあります。
4. 家具など重いものを引きずらないでください。荷重が集中して温水配管の破損の原因となります。やむを得ず引きずる場合には、ベニヤ板などを敷いて床面を保護するようにしてください。
5. ベッド、ソファなどの家具は床面との間の空間がなるべく大きいものをお選びください。空間がない家具は床暖房の上に置かないでください。床暖房部分(温水マットが敷設されている部分)に床面との空間がない家具などを置くと、放熱を妨げるばかりでなく、家具などの反りやひずみの原因となります。また、ピアノは調律が狂うことがあります。
6. 床面を濡らしたとき、汚したときはすぐに拭き取ってください。
7. 床暖房の上で洗濯物を乾かしたり、床に濡れたものを置いたりしないでください。床材が傷む原因となります。

フローリング仕上げの床暖房の場合

1. カーペットなど大きな面積の放熱を妨げるものを床の上に敷いた状態で床暖房をしないでください。フローリング材を損傷するおそれがあります。特に木質フローリングとホットカーペットとの併用は絶対に避けてください。
2. ベッド、ソファなどの家具は床面との間の空間がなるべく大きいものをお選びください。空間がない家具は床暖房の上に置かないでください。床暖房部分(温水マットが敷設されている部分)に床面との空間がない家具などを置くと、放熱を妨げるばかりでなく、家具などの反りやひずみの原因となります。また、ピアノは調律が狂うことがあります。

- 床にくぎなどを打ったり、ダニ駆除剤の注入針や画びょうなど鋭利なものを刺したりしないでください。温水マット内部の配管を傷付けるおそれがあります。壁の一部分や床下には暖房を行うための温水配管が位置している場所があり、配管を傷付けたり漏水の原因となることがあります。
- 家具など重いものを引きずらないでください。フローリングを傷付けることがあります。やむを得ず引きずる場合には、ベニヤ板などを敷いて床面を保護するようにしてください。
- ピアノなど重量物の脚部には必ず板などを敷き、荷重を分散させてください。
- 床面を濡らしたとき、汚したときはすぐに拭き取ってください。
- キャスターを使用したり、靴をはいて歩くと仕上げ材が傷付くことがあります。キャスターの使用や靴の使用については床材メーカーにお問い合わせください。
- 床暖房の上で洗濯物を乾かしたり、床に濡れたものを置いたりしないでください。床材が傷む原因となります。

その他の仕上げ材について

※各々の仕上げ材により、注意事項が異なります。床材の取扱説明書類や床材メーカーの指定に従ってください。
不明な場合は床材メーカーにお問い合わせください。

■故障かな？と思ったら

よく調べてみると故障ではない場合があります。修理を依頼される前にもう一度次の点をお調べください。

現象	点検項目
暖まらない・暖まりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●エアコンなど他の暖房機器を併用して室温が高くなっていませんか。 ●床がカーペット仕上げの場合、ピアノなど重いものが直接置かれていて温水の循環が妨げられていませんか。 ●床の上に、カーペットなど大きな面積の放熱を妨げるものが敷かれていませんか。 ※上記以外の「点検項目」については床暖房リモコンの取扱説明書をご参照ください。

■こんなときは故障（異常）ではありません

現象	こんな理由
1.スイッチを入れてもすぐに暖まらない	床暖房はエアコンなど温風による対流方式の暖房と異なり「ふく射熱」を主にした暖房方式のため、お部屋が温まるまでに多少時間がかかります。また、他の温水暖房端末(浴室暖房乾燥機など)が運転しているときやお風呂のおいだし中は、より時間がかかることがあります。
2.床暖房使用中に床から音がする	床暖房の熱によって温水マットや仕上げ材などが収縮・膨張するときの音や、温水配管内を温水が流れる音が聞こえることがあります。異常ではありません。
3.部屋により暖まり方や踏んだ感触がちがう	お部屋によって床の仕上げ材が異なる場合（フローリング、カーペット等）、素材の特性および仕上げ材の構造の違いにより暖まり方や踏んだ感触が異なる場合があります。異常ではありません。
4.床面の暖かさが場所によって異なる	温水式床暖房は温水マットの温水配管内に温水を循環させて仕上げ材(フローリングなど)を暖めており、温水配管のある場所とない場所では床面の温度に若干の差が生じます。異常ではありません。
5.フローリングを踏んだ感触が場所により異なる	フローリングの固定用根太部や温水配管接続部、温水配管部は、フローリングを踏んだ感触が他の部分と異なることがあります。異常ではありません。
6.フローリング表面に凹凸や段差がある	フローリングの固定用根太部や周辺の合板の継ぎ合わせ部分、また温水マットを複数枚組み合わせで敷設している場合の温水マットの継ぎ合わせ部には多少の凹凸があるため、光の当たり具合によってはフローリングが部分的に傾斜して見えることがあります。異常ではありません。
7.フローリングの継ぎ目に隙間がある	フローリングが天然材の場合、床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、継ぎ目に隙間が生じることがあります。異常ではありません。

※その他、ご不明な点がございましたらお買い上げの販売店までご連絡ください。